

事前評価個表

| | | | | |
|--------------------|---|------------------------------|--------------|--------------------|
| 事業名 | 森林環境保全整備事業（国有林） | | 事業計画期間 | 令和3年度～令和7年度（5年間） |
| 事業実施地区名 （都道府県名） | （みやぎなんぶ） 宮城南部森林計画区 （宮城県） | | 事業実施主体 | 東北森林管理局 仙台森林管理署 |
| 事業の概要・目的 | <p>本事業は、宮城県のはぼ中央から南部に位置する仙台市をはじめとする5市8町に所在する約5万5千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は、山形県境に接する奥羽山脈に連なる山岳地帯、その山麓に広がる丘陵地帯、阿武隈山系の内陸部に散在する丘陵地帯及び太平洋沿岸に広がる海岸地帯に区分される。山岳地帯の奥羽山脈では、北部は急傾斜地が多く起伏しており、西部は比較的安定した地形となっている。また、丘陵地帯は海拔500m以下の起伏の少ない地形となっている。</p> <p>本計画区内の国有林野の90%が保安林に指定され、水源涵養^{かん}や土砂流出防備等に重要な役割を果たしており、水源涵養機能はもとより、山地災害防止機能や土壌保全機能等の森林の有する多面的機能の高度な発揮が期待されている区域である。</p> <p>また、本計画区内には、蔵王国定公園をはじめ船形連峰県立自然公園ほか3箇所の県立公園が存在するとともに、優れた自然・景観に恵まれ、スキー場をはじめとする野外レクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されているほか、豊かな自然環境が保全されており、希少猛禽類であるイヌワシ・クマタカなどの多様な野生生物が生息している。さらに、丘陵地帯では都市近郊森林の一部を「自然休養林」としており、都市住民の休養・憩いの場として利用されている。</p> <p>林業・木材産業については、戦後造林されたスギ等が成熟し、多くが利用期を迎えており、県内には大規模合板工場や製材工場が立地していることから、木材の安定供給への期待が高い。</p> <p>森林の現況は、人工林面積が約1万8千haで、スギ(39%)、アカマツ(33%)、カラマツ(22%)が主な樹種となっている。天然林面積は約3万3千haで、主にブナ、ナラ類等の広葉樹とアカマツが主体となっている。</p> <p>人工林の齢級構成については、11齢級をピークとした一山型であり、10齢級以上が7割以上となっており、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後の確実な更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能、土砂流出防止機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化にも寄与するため、地域特性や現地の状況、社会情勢及び事業の評価を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、伐採造林の一貫作業システムやコンテナ苗を活用した更新作業、下刈回数^{すげ}の低減、列状間伐の実施等により低コストで効率的な作業を推進するとともに、生物多様性の保全に配慮した森林施業や路網整備における柵工等木材利用の促進に取り組む。</p> <p>また、本計画区内では、松くい虫、ナラ枯れ被害が発生しており、さらに、ニホンジカ^{しか}の目撃も増えているため、関係機関と連携して被害状況の情報共有を図るなど連携した取組を行うとともに、適切な被害対策を講じることとする。</p> | | | |
| | 主な事業内容 | 森林整備 | 更新面積 保育面積 | 530 ha 3,677 ha |
| | | 路網整備 | 開設延長 改良延長 | 11.7 km 0.3 km |
| | 総事業費 | 2,903,806千円（税抜き 2,639,824千円） | | |
| 費用便益分析 | 総便益（B） | 8,588,770千円 | | |
| | 総費用（C） | 3,373,121千円 | | |

| | 分析結果 (B/C) 2.55 |
|-------------------|---|
| 森林管理局事業評価技術検討会の意見 | 森林整備を行うことにより、公益的機能の発揮と木材生産等を通じた地域振興への寄与が期待されることから、事業実施の必要性が認められる。 |
| 評価結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮や事業の実施を通じて生産されるスギ等の木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業に寄与することから、本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、一貫作業システム、下刈回数の低減等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしており、路網整備では、開設・改良により森林整備箇所へのアクセス性や集材効率を向上させるなど、効率的な森林整備を行うこととしており、費用便益分析の結果からも事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林の現況や路網の整備状況を踏まえた事業内容であり、計画的な保育等の適切な森林整備や、これと連携した路網整備により、森林の有する公益的機能を十分発揮させるものとなっているほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が計画されているものと認められる。</p> |

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：宮城県

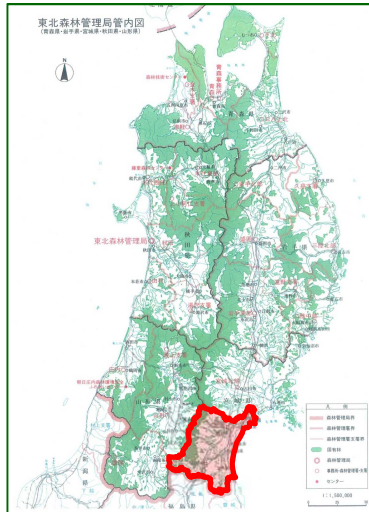
施行箇所：宮城南部森林計画区

(単位：千円)

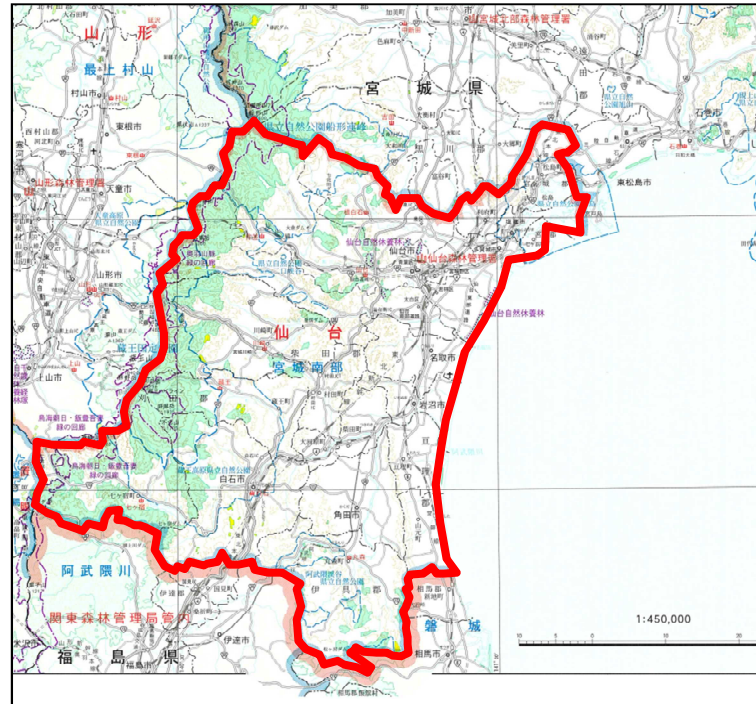
| 大 区 分 | 中 区 分 | 評 価 額 | 備 考 |
|-------------|---|-----------|-----|
| 水源涵養便益 | 洪水防止便益 | 1,517,864 | |
| | 流域貯水便益 | 354,204 | |
| | 水質浄化便益 | 1,314,281 | |
| 山地保全便益 | 土砂流出防止便益 | 1,374,710 | |
| 環境保全便益 | 炭素固定便益 | 1,019,610 | |
| 木材生産等便益 | 木材生産経費縮減便益 | 1,344 | |
| | 木材生産確保・増進便益 | 960,927 | |
| 森林整備経費縮減等便益 | 森林整備促進便益 | 2,045,830 | |
| 総 便 益 (B) | | 8,588,770 | |
| 総 費 用 (C) | | 3,373,121 | |
| 費用便益比 | $B \div C = \frac{8,588,770}{3,373,121} = 2.55$ | | |

森林環境保全整備事業 宮城南部森林計画区（宮城県） 仙台森林管理署 事業概要図

宮城南部森林計画区位置図
(仙台森林管理署)



森林整備位置図



不忘嶽国有林（地拵）



青葉南国有林（植付）



ブナ沢林道（林業専用道）



横川岳国有林（保育間伐）



横川岳国有林（除伐）

